

事務局だより

第16回

みえの農村風景 写真コンテスト 受賞作品



最優秀賞

「稲刈り体験の仕上げ」(四日市市) 伊藤孝司



空の青々しさ、子どもたちの本当に楽しそうな笑顔や稲を投げる躍動感。空に散る稲がクラッカーのように稲刈体験を終えた子ども達を祝福しているようです。ローアングルから撮影することで子ども達の表情や空の青さなどうまく捉えています。最優秀賞にふさわしい作品です。



優秀賞

「稲田の夕景」(伊賀市) 上杉裕昭

細かく正確に区画された田んぼと田んぼに並行して敷かれている線路。重なる四角形を斜めから撮影することで連続する田んぼの水面の広がりを象徴的にとらえていて、田んぼの区切りと平行な線路を走る電車をその中にいれることで空と電車と水面の心安らぐブルーの調和を生み私達の心を癒やしてくれます。



「野焼き」(三重郡菟野町) 辻 隆司



野焼きをしているところから少し離れ、少し高いところから撮影したことで、手前の花を入れ、作業するおばあちゃん、周りの風景がバランスよく映り、遠近感をうまく利用しています。煙の白さと花のピンク色のコントラストも作品にインパクトを与えています。



特別賞

「田楽に合わせて」(志摩市) 藤高文男

御田植祭でのシーンでしょうか。今は田植え機を使い一人で楽に田植えができますが、写真で見ると昔は人数を要し、重労働だったことがわかります。写真では田楽の音色が伝わらないので、ぜひ現地に行ってみてみたいですね。



「収穫の笑顔」(多気郡多気町) 山本幸平



しっかり実った稲穂と世代を越えた3人の笑顔。収穫を祝うかのように太陽の日差しが3人を照らしています。特に左端のおばあちゃんの表情が印象的で、3人の笑顔からは稲刈りの楽しさや充実感や達成感が感じられます。

「収穫の頃」(津市) 加藤和弘

稲刈後の引き込み作業を砂埃を立てながら行うトラクターとその周りに群れる白鳥の集団。その光景を見ると次の季節の到来を感じるとともに、刈られた後の田んぼを見ると少し寂しくも感じます。



「桜の下で」(津市) 澤田静子



耕運機を使い畑を耕すおじさんとそれを見守る桜の木。満開の桜の花が今年の豊作を願い、作付けシーズンのスタートを祝っているようです。



伊勢新聞社賞

「田んぼの番人」(志摩市) 浜口正雄

かかしとかかしの間に同じく手を広げてジャンプする少女の姿。田んぼの番人に仲間が加わったことでかかしたちも百人力ですね。田んぼにたたずむ二体のかかしを見て、このユニークな構図が浮かんだのがお見事です。

